

眼 科 学

Ophthalmology

教 授	早坂 征次	Seiji Hayasaka
助 教 授	長木 康典	Yasunori Nagaki
講 師	山田 哲也	Tetsuya Yamada
講 師	柳沢秀一郎	Shuichiro Yanagisawa
助 手	張 学云	Zhang Xue-Yun
助 手	阿部 知博	Tomohiro Abe
助 手	中村 伸男	Nobuo Nakamura
助 手	吉田 眞知	Machi Yoshida
助 手	三原 美晴	Miharu Mihara
助 手(前)	早坂依里子	Yoriko Hayasaka
助 手(前)	遠藤 好美	Yoshimi Endo
前任技術員	林 由美子	Yumiko Hayashi

◆ 著 書

- 1) 早坂征次, 早坂依里子: 家族性高コレステロール血症. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」615, 文光堂, 東京, 2004.
- 2) 早坂征次, 早坂依里子: スフィンゴリピド症. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」616, 文光堂, 東京, 2004.
- 3) 早坂征次, 早坂依里子: ガラクトース血症. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」617, 文光堂, 東京, 2004.
- 4) 早坂征次, 早坂依里子: ホモシスチン尿症. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」620, 文光堂, 東京, 2004.
- 5) 早坂征次, 早坂依里子: 高オルニチン血症. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」629, 文光堂, 東京, 2004.
- 6) 早坂征次, 早坂依里子: フェニールケトン尿症. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」630, 文光堂, 東京, 2004.
- 7) 早坂征次, 早坂依里子: Laurence-Moon-Biedl 症候群. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」631, 文光堂, 東京, 2004.
- 8) 早坂征次, 早坂依里子: Wilson病, 肝レンズ核変性症. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」632, 文光堂, 東京, 2004.
- 9) 早坂征次, 早坂依里子: 痛風. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」633, 文光堂, 東京, 2004.
- 10) 早坂征次, 早坂依里子. Batten病. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」634, 文光堂, 東京, 2004.

- 11) 早坂征次, 早坂依里子: Marchesani症候群. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」635, 文光堂, 東京, 2004.
- 12) 早坂征次, 早坂依里子: エタンブトール中毒. 眼科診療プラクティス編集委員会「眼科診療ガイド」678, 文光堂, 東京, 2004.

◆ 原 著

- 1) Nagaki Y., Hayasaka S., Abe T., Zhang Xue-Yun, Hayasaka Y., and Terasawa K.: Effects of oral administration of Gardeniae fructus extract and intravenous injection of crocetin on lipopolysaccharide- and prostaglandin E²-induced elevation of aqueous flare in pigmented rabbits. *Am. J. Chin. Med.*, 31:729-738, 2003.
- 2) Hayasaka Y., and Hayasaka S.: Almost simultaneous onset of Vogt-Koyanagi-Harada syndrome in co-workers, friends, and neighbors. *Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol.*, 242:611-613, 2004.
- 3) Chi Zai-Long., Hayasaka S., Zhang Xue-Yun., Hayasaka Y., and Cui Hu-Shan.: Effects of rolipram, a selective inhibitor of type 4 phosphodiesterase, on lipopolysaccharide-induced uveitis in rats. *Invest. Ophthalmol. Vis. Sci.*, 45:2497-2502, 2004.
- 4) Hayasaka Y., Hayasaka S., Nagaki Y., and Zhang Xue-Yun.: Effect of topical betaxolol or acute elevation of aqueous flare after argon laser iridotomy. *Ann. Ophthalmol.*, 36:98-102, 2004.
- 5) Abe T., Hayasaka Y., Zhang Xue-Yun., and Hayasaka S.: Effects of intravenous administration of FR122047 (a selective cyclooxygenase-1 inhibitor) and FR188582 (a selective cyclooxygenase-2 inhibitor) on prostaglandin E₂-induced aqueous flare elevation in pigmented rabbits. *Ophthalmic Res.*, 36:321-326, 2004.
- 6) 矢野宏樹, 早坂征次: 35mmフィルムスキャナを利用したアナログ画像のデジタル画像への変換の試み. *眼科臨床医報* 98:762-765, 2004.
- 7) 吉井 忍, 早坂征次: 眼科外来に通院する糖尿病患者の病識調査. *眼科臨床医報* 98:864-867, 2004.

◆ 症 例

- 1) Endo M., Hayasaka S., Nagaki Y., Matsumoto M., and Hayasaka Y.: Recurrent vitreous hemorrhage in boys with prepapillary

- arterial loops. *Ann. Ophthalmol.*, 35:133-135, 2003.
- 2) Kitagawa K., Hayasaka S., and Nagaki Y.: Presumed minor salivary gland secretion in a patient with a history of oral mucous membrane graft. *Am. J. Ophthalmol.*, 136:374-375, 2003.
 - 3) Kitagawa K., Hayasaka S., and Nagaki Y.: Increased aqueous flare intensity in eyes with liquefied aftercataract. *J. Cat. Ref. Surg.*, 30:1342-1344, 2004.
 - 4) Mikami T., Hayasaka S., Nagaki Y., Yanagisawa S., Futatani T., and Takano Y.: Congenital corneal staphyloma associated with aphakia. *J. Pediatr. Ophthalmol. Str.*, 41:180-182, 2004.
 - 5) Ikeda N., Hayasaka S., Hayasaka Y., and Murayama N.: Poor vision for 2 days' duration and rapid visual recovery after treatment in a patient with branch retinal artery occlusion. *Ann. Ophthalmol.*, 36:44-46, 2004.
 - 6) Hayasaka Y., and Hayasaka S.: Bilateral congenital macular coloboma in a boy with Down syndrome. *Eur. J. Ophthalmol.*, 14: 568-571, 2004.
 - 7) Toge M., Hayasaka S., Hayasaka Y., Kubo M., and Kuwayama N.: Cerebral venous sinus thrombosis revealed by digital subtraction angiography in a 69-year-old man with papilledema. *Neuro- Ophthalmol.*, 28:147-153, 2004.
 - 8) 遠藤好美, 早坂征次, 長木康典, 石田俊郎: 成長に伴い漏涙が増え瘻管摘出術を行った先天性外涙嚢瘻の1例. *眼科臨床医報* 98:38-39, 2004.
 - 9) 遠藤真知, 早坂征次, 長木康典, 大角智寿子: 両眼性水晶体嚢真性落屑の2例. *眼科臨床医報* 98: 103-105, 2004.
 - 10) 三浦光生, 早坂征次, 長木康典, 山田哲也, 早坂依里子: 53歳で視力良好なコロイデミアの1例. *眼科臨床医報* 98:106-108, 2004.
 - 11) 若林直子, 林 由美子, 早坂征次, 林 央周, 遠藤俊郎: 富山医科薬科大学病院で手術した下垂体腺腫症例の術後の視力と視野の変化. *眼科臨床医報* 98:177-180, 2004.
 - 12) 三原美晴, 北川清隆, 早坂征次: グルタチオンとアスコルビン酸の投与が有効と思われたパラコート含有除草剤による眼傷害の1例. *眼科臨床医報* 98:584-585, 2004.
- ◆ 総 説
- 1) 早坂征次: 眼科領域の医療訴訟での鑑定. *富山医薬大誌* 15:52-54, 2004.
- ◆ その他
- 1) 田辺晶代, 岩瀬愛子, 早坂依里子: 緑内障手術1~3, 緑内障1~2. *眼科* 46:515-525, 2004.
- ◆ 学会報告
- 1) 三浦光生, 早坂征次, 山田哲也, 早坂依里子: 短指がみられたBardet Biedl症候群の1例. 第38回福井県眼科集談会, 2004. 2, 福井.
 - 2) 吉井 忍, 早坂征次: 眼科外来に通院する糖尿病患者の病識調査. 第10回富山内眼糖研究会, 2004. 2, 富山.
 - 3) 淵澤千春, 早坂征次, 立浪和也: 糖尿病が関連すると思われた虹彩からの出血の2例. 第10回富山内眼糖研究会, 2004. 2, 富山.
 - 4) 三原美晴, 早坂征次, 北川清隆: グルタチオンとアスコルビン酸の投与が有効と思われたパラコート含有除草剤による眼障害の1例. 第82回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2004. 3, 富山.
 - 5) 北川清隆, 早坂征次, 三上武則: 上眼瞼釣り針刺傷. 第82回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2004. 3, 富山.
 - 6) 早坂征次: 薬物・毒物・虫による眼病変. 特別講演. 第43回新潟臨床研究会, 2004. 3, 新潟.
 - 7) 北川清隆, 早坂征次, 渡辺一彦: Clonidineの前房フレア抑制作用をbutanedione monoximeが阻害する. 第108回日本眼科学会, 2004. 4, 東京.
 - 8) 阿部知博, 早坂依里子, 張 学云, 早坂征次: 家兔のPGE²惹起前房フレア上昇に及ぼすFR122047とER188582の影響. 第108回日本眼科学会, 2004. 4, 東京.
 - 9) 早坂依里子, 早坂征次: 日本人小児の睫毛内反症とBody Mass Index(BMI). 第108回日本眼科学会, 2004. 4, 東京.
 - 10) 池 在龍, 早坂征次, 早坂依里子, 張 学云, 崔 虎山: LPS惹起前眼部炎症でのE-selectin, TNF- α , IL-6, iNOS発現に対するRolipramの影響. 第108回日本眼科学会, 2004. 4, 東京.
 - 11) 崔 虎山, 早坂征次, 早坂依里子, 池 在龍, 張 学云: 網膜色素上皮細胞におけるIL-1 β 誘発, IL-8とMCP-1産生に対する α -MSHの影響. 第108回日本眼科学会, 2004. 4, 東京.
 - 12) 張 学云, 早坂征次, 早坂依里子, 池 在龍, 崔 虎山: 網膜色素上皮細胞でのPACAP受容体

- 発現及びIL-8とMCP-1産生に対するPACAPの影響. 第108回日本眼科学会, 2004. 4, 東京.
- 13) Andi Muhammad Ichsan, 加藤一郎, 吉田淑子, 早坂征次, 平賀絃一: マウスロドプシン遺伝子プロモーター制御下でEGFPを産生するマウスの作製. 第108回日本眼科学会, 2004. 4, 東京.
- 14) 池田成子, 柳沢秀一郎, 早坂征次: 両眼性網膜剥離がみられたDown症候群の乳児例. 第50回富山眼科集談会, 2004. 5, 富山.
- 15) 渡辺このみ, 早坂征次, 中村美佳, 藤阪志帆: 両眼性強膜炎がみられた顕微鏡的多発血管炎の1例. 第50回富山眼科集談会, 2004. 5, 富山.
- 16) 北川清隆, 早坂依里子, 早坂征次: 病理組織学的所見が得られた水晶体前囊収縮症候群. 第50回富山眼科集談会, 2004. 5, 富山.
- 17) 池 在龍, 早坂征次, 張 学云, 早坂依里子, 崔 虎山: ラットのLPS惹起前眼部炎症に対するホスホジエステラーゼ抑制剤Rolipramの影響. 第50回富山眼科集談会, 2004. 5, 富山.
- 18) 崔 虎山, 早坂征次, 張 学云, 池 在龍, 早坂依里子: ヒト網膜色素上皮細胞でのTNF- α 刺激によるIL-8とMCP-1産生に対する α -MSHの影響. 第50回富山眼科集談会, 2004. 5, 富山.
- 19) 吉井 忍, 早坂征次: 眼科外来に通院する糖尿病患者の病識調査. その2. 第50回富山眼科集談会, 2004. 5, 富山.
- 20) 早坂依里子, 早坂征次, 北川清隆, 山田哲也, 柳沢秀一郎, 吉田眞知: 日本人小児の睫毛内反症とBody Mass Index (BMI). 第50回富山眼科集談会, 2004. 5, 富山.
- 21) 長木康典: アスタキサンチン眼精疲労の緩和に関わる臨床報告. アスタキサンチンセミナー, 2004. 5, 東京.
- 22) 渡辺このみ, 早坂征次, 中村美佳, 藤阪志帆: 両眼性強膜炎の1例. 第42回北日本眼科学会, 2004. 7, 福島.
- 23) 吉田眞知, 早坂征次, 山田哲也, 柳沢秀一郎, 早坂依里子, 中村伸男, 三原美晴: 富山医科薬科大学眼科における水痘・带状疱疹ウイルス感染による眼病変. 第39回福井県眼科集談会, 2004. 9, 福井.
- 24) 柳沢秀一郎: ラタノプロストの β ブロッカーからの切替えの検討. ファイザー眼科学術セミナー, 2004. 10, 金沢.
- 25) 吉井 忍, 早坂征次: 富山医科薬科大学眼科を受診した眼熱傷患者. 第83回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2004. 10, 富山.
- 26) 吉田眞知, 早坂征次, 山田哲也, 柳沢秀一郎, 早坂依里子, 中村伸男, 三原美晴: 富山医科薬科大学眼科における水痘・带状疱疹ウイルス感染による眼病変. 第83回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2004. 10, 富山.
- 27) 中村美佳, 渡辺このみ, 高橋 徹, 中村伸男, 早坂征次: 高齢者の急性間質性腎炎に伴うぶどう膜炎の一例. 第24回金沢医科大学眼科研究会, 2004. 10, 金沢.
- 28) 崔 虎山, 早坂征次, 張 学云, 早坂依里子, 池 在龍: ヒト網膜色素上皮細胞におけるIL-1 β 誘発IL-8とMCP-1産生に対するberberineの影響. 第24回日本眼薬理学会, 2004. 10, 東京.
- 29) 張 学云, 早坂征次, 早坂依里子, 池 在龍, 崔 虎山: LPS惹起前眼部炎症におけるサイトカイン産生およびN-acetylcysteineの影響. 第24回日本眼薬理学会, 2004. 10, 東京.
- 30) 池 在龍, 早坂征次, 張 学云, 早坂依里子, 崔 虎山: LPS惹起前眼部炎症におけるS100A8とA100A9の発現について. 第24回日本眼薬理学会, 2004. 10, 東京.
- 31) 柚木達也, 佐藤昭一, 早坂征次: 外転神経麻痺を合併したFabry病女性ヘテロ接合体の一例. 第24回金沢医科大学眼科研究会, 2004. 10, 金沢.
- 32) 早坂依里子, 早坂征次: 長期血液透析患者の角膜輪部石灰化. 第58回日本臨床眼科学会, 2004. 11, 東京.
- 33) 渡辺このみ, 早坂征次, 中村美佳, 早坂依里子, 大森友明: 傾斜乳頭症候群と頭蓋内動脈瘤がみられた一例. 第58回日本臨床眼科学会, 2004. 11, 東京.
- 34) 池田成子, 柳沢秀一郎, 早坂依里子, 早坂征次: 両眼性全網膜剥離がみられたDown症候群の乳児例. 第58回日本臨床眼科学会, 2004. 11, 東京.
- 35) 三原美晴, 早坂征次, 渡辺このみ, 北川清隆, 早坂依里子: 顕微鏡的多発血管炎の2症例の眼病変. 第58回日本臨床眼科学会, 2004. 11, 東京.
- 36) 長木康典: 糖尿病眼合併症に対する漢方薬治療. 第58回日本臨床眼科学会, 2004. 11, 東京.
- 37) 吉井 忍, 早坂征次, 山田哲也, 柳沢秀一郎, 阿部知博, 吉田眞知, 三原美晴, 早坂依里子: 大学の職員と学生にみられた眼化学損傷. 第51回富山眼科集談会, 2004. 12, 富山.
- 38) 池田成子, 早坂征次, 早坂依里子, 渡辺このみ: アルカリ眼外傷の重症度に及ぼす受傷直後の洗浄の影響. 第51回富山眼科集談会, 2004. 12, 富山.
- 39) 早坂依里子, 早坂征次, 池田成子: 長期血液透

析患者の角膜輪部石灰化. 第51回富山眼科集談会, 2004. 12, 富山.

40) 中村伸男, 早坂征次, 早坂依里子: 血清P-ANCAが高値を示した強膜炎の1例. 第51回富山眼科集談会, 2004. 12, 富山.

41) 渡辺このみ, 早坂征次, 中村美佳, 早坂依里子, 大森友明: 傾斜乳頭症候群と頭蓋内動脈瘤がみられた一例. 第51回富山眼科集談会, 2004. 12, 富山.

耳 鼻 咽 喉 科 学

Otorhinolaryngology

教 授	渡辺 行雄	Yukio Watanabe
助 教 授	麻生 伸	Shin Aso
助 教 授	中川 肇	Hajime Nakagawa (学内併任・医療情報部)
講 師	將積日出夫	Hideo Shojaku
講 師	浅井 正嗣	Masatsugu Asai
助 手	安村佐都紀	Satsuki Yasumura
助 手	藤坂実千郎	Michiro Fujisaka
助 手	十二町真樹子	Makiko Junicho
助 手	石田 正幸	Masayuki Ishida
助 手	和田倫之助	Rinnosuke Wada
助 手(前)	伏木 宏彰	Hiroaki Fushiki
前任技術員	武田 精一	Seiichi Takeda

◆ 著 書

- 1) 麻生 伸: 蝸電図が必要なとき. 「新生児聴覚スクリーニング—早期発見・早期教育のすべて—」, 44-49, 金原出版, 東京, 2004.
- 2) 將積日出夫: 音響外傷. 「家庭医学大全科」, 1651-1652, 法研, 東京, 2004.
- 3) 將積日出夫: 騒音性難聴. 「家庭医学大全科」, 1652, 法研, 東京, 2004.
- 4) 將積日出夫: 老人性難聴. 「家庭医学大全科」, 1653-1654, 法研, 東京, 2004.
- 5) 將積日出夫: 先天性難聴. 「家庭医学大全科」, 1654-1655, 法研, 東京, 2004.
- 6) 將積日出夫: 突発性難聴. 「家庭医学大全科」, 1655, 法研, 東京, 2004.
- 7) 將積日出夫: 薬剤性難聴. 「家庭医学大全科」, 1656, 法研, 東京, 2004.
- 8) 將積日出夫: 機能性難聴. 「家庭医学大全科」, 1656-1657, 法研, 東京, 2004.
- 9) 將積日出夫: 外リンパ瘻. 「家庭医学大全科」, 1658, 法研, 東京, 2004.

◆ 原 著

- 1) Fushiki H., Yasuda K., Maruyama M., Watanabe Y.: Effects of head tilt on the direction of vertical postrotatory nystagmus in cats. Brain Res. 1015, 202-206, 2004.
- 2) Maruyama M., Fushiki H., Yasuda K., Watanabe Y.: Asymmetric adaptive gain changes of the vertical vestibulo-ocular reflex in cats. Brain Res. 1023, 302-8, 2004.
- 3) 安村佐都紀, 將積日出夫, 渡辺行雄: 温度刺激